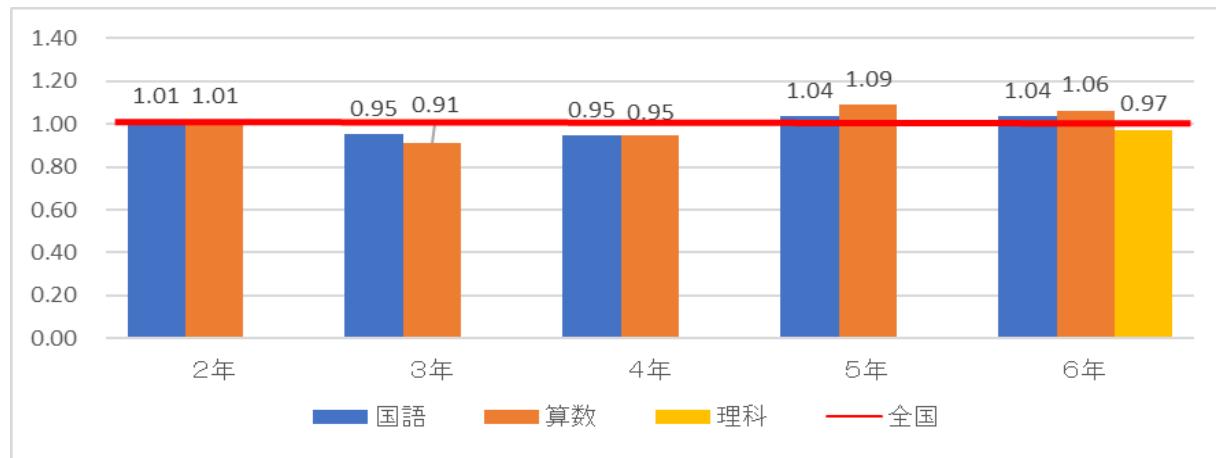


**令和7年度 全国学力・学習状況調査及び寝屋川市学習到達度調査について
中木田中学校区 木田小学校**

○調査結果（全国平均を1とした場合の平均正答率の比）



※小学2～5年生は寝屋川市学習到達度調査、小学6年生は全国学力・学習状況調査の結果

○調査結果についての分析、今後の改善方策

寝屋川市学習 到達度調査	国語	「言葉の特徴や使い方に関する事項」や「読むこと」については、おおむね良好な結果であった。今後は、学校全体で「書く」力の育成向けた取組を充実させていく。
	算数	「データの活用」領域については、おおむね良好な結果であった。今後は、「思考力・判断力・表現力」の育成に向けた取組を充実させていく。
全国学力・ 学習状況調査	国語	「話すこと・聞くこと」「書くこと」で、全国値を上回る良好な結果であった。今後は、要約や要旨等を大切にした「読むこと」の指導を充実させていく。
	算数	全ての領域において、全国値を上回る良好な結果であり、これまでの学力向上の取組が成果として表れている。引き続き、取組を継続し、学力向上を図っていく。
	理科	「思考力・判断力・表現力」の観点については、全国値を上回る良好な結果であった。今後は、「知識・技能」の定着を目指し取組を進めていく。
	質問紙	「先生は、あなたの良いところを認めてくれると思いますか」という質問については、肯定的な回答が100%となっており、「自分には良いところがある」と回答した児童も全国値を大きく上回っている。学校教育目標である「子どもと先生が安心して過ごせるチーム木田小のもと、取り組んできた成果が表れている。

○学力向上の取組

【中学校区】

中学校区3校での合同研修・授業交流を通して、めざす目標を共有し、「考える力」を身に付け、たくましく生き抜く子の育成を図るため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを推進している。各教科における小中一貫カリキュラムを踏まえ、小学校から中学校へつながる「家庭学習ノート」の取組や各学期における小学6年生の中学校登校日の設定、小6と中3のディベート交流など、小中一貫校として9年間を通した取組を推進している。

【学校】

校内計算検定や漢字検定・読書環境の整備による基礎・基本の定着を図るとともに、全教員による複数回の校内公開授業及び校内研究授業等を通して、学校としての教育力の向上や子どもの「考える力」「生き抜く力」「非認知能力」の育成を図っていく。今後も各種調査結果の分析を通して、本校の子どもの強みや課題を踏まえた上で、ねやがわスタンダードに基づく子どもが主体的に学びに向かう授業を引き続き推進し、学力の向上に向けた取組を推進していく。